

自己評価・市町村評価

(表面)

<記入手順>
 ①都道府県名・市町村名・活動組織名を記入してください。
 ②活動組織の皆様は、平成27年度までの活動を振り返り、表面のⅠ(1)～(4)に回答してください。
 ③資源向上活動(共同)のうち、「多面的機能の増進を図る活動」に取り組んでいる活動組織の皆様は、平成27年度までの活動を振り返り、裏面のⅡ(1)～(3)にも回答してください。
 ④市町村は、活動組織の回答を確認した上で、地域の状況や変化を客観的な視点で判断し、表面のⅠ(5)～(7)及び裏面のⅡ(4)～(5)に回答してください。(別添「市町村の判断基準のガイドライン」参照)

都道府県名:	富山県
市町村名:	南砺市
活動組織名:	南砺環境保全推進委員会

Ⅰ 農地維持支払の「地域資源の適切な安全管理のための推進活動」についておたずねします (全ての組織が対象)

活動組織(広域活動組織を含む)記入欄 (自己評価)

市町村記入欄 (市町村評価)

- (1) あなたの組織の活動計画書で「構造変化に対応した安全管理の目標」として定めたもの全てにチェック“■”を付けてください。
- 1. 地域内の中心経営体の育成・確保、農地集積を図り、中心経営体との役割分担や労力補完により安全管理を図る。【中心経営体型】
 - 2. 集落営農組織の構築・充実等を図り、集落を基礎とした農業生産体制の整備と合わせた地域ぐるみの安全管理を図る。【集落ぐるみ型】
 - 3. 地域外の農業生産法人や認定農業者等への農地集積を図り、地域外の経営体との協力・役割分担により安全管理を図る。【地域外経営体連携型】
 - 4. 広域的な農地利用の調整、近隣集落との連携、旧村や水系単位等での連携を図り、集落間の相互の労力補完や広域的な活動により安全管理を図る。【集落間・広域連携型】
 - 5. 地域住民の参画、地域外の団体や都市住民等との連携を図り、地域外を含め多様な地域資源管理の担い手の確保により安全管理を図る。【多様な参画・連携型】
 - 6. その他(活動計画書に記載している内容を以下の欄に記入してください。)

- (2) あなたの組織が、(1)の目標に即して活動計画書「Ⅲ活動の計画」に定めた「地域資源の適切な安全管理のための推進活動」について、平成27年度までの取組状況に該当するもの全てにチェック“■”を付けてください。
- 1. 関係者間で地域の現状や目標を共有できた。(※「関係者」とは、(1)の目標に関係する者のこと)
 - 2. 目標に向けた課題を整理できた。
 - 3. 課題解決や安全管理の方法(体制や役割分担等)を検討した。
 - 4. 安全管理の体制強化の方針が決まった。
 - 5. その他(具体的な内容を以下の欄に記入してください。)

- (3) あなたの組織が行った「地域資源の適切な安全管理のための推進活動」によって、その活動を取り組まなかった場合と比べて、効果が現れている、又は現れることが見込まれるもの全てにチェック“■”を付けてください。
- (理解醸成)
- 1. 地域農業の将来を考える農業者の増加。
 - 2. 農村の将来を考える地域住民の増加。
- (体制強化)
- 3. 不在村地主との連絡体制の確保。
 - 4. 地域内外の担い手農家との連携体制の構築。
 - 5. 隣接集落など他の集落との連携体制の構築。
 - 6. 農地・水路等を安全管理する人材の確保。
- (担い手の負担軽減等)
- 7. 担い手農家や法人等の負担軽減。
 - 8. その他(具体的な内容を以下の欄に記入してください。)

- (4) 平成27年度の1年間を振り返り、あなたの組織が取り組んだ活動に関するPRや今後の課題・展望など、以下の欄に簡単に記載してください。(「地域資源の適切な安全管理のための推進活動」以外の活動も含めて記載してください。)

1. 活動のPR	2. 今後の課題や展望など
共同活動に非農業者を含めることにより、農用地の多面的機能の意識向上につながった。 (例) 安全管理の作業軽減のために、地域で畦のカバープランツに芝桜を植栽する活動を実施。芝桜が満開の時には、観光客が訪れ、地域の活性化につながっている。	集落内農用地の効率的な管理を行うため、集落営農の法人化が必要について検討中。 (例) 通い耕作者が多く、農地の集積が促進されていない。このため、通い耕作者と意見交換会を行い、農地集積と地域資源の安全管理の役割分担を行う。

- 5) 多面的機能支払の取組開始以降で、当該活動組織が活動する地域の変化について、該当するもの全てにチェック“■”を付けてください。

← **活動組織記入欄(自己評価)のみ記載してください。市町村記入欄(市町村評価)は記載不要です。**

エクセルシートで回答される場合は、「記入シート」のみ記載され、E-Mailで回答願います。

- 3. 指導は必要
 - 4. 根本的の見直しが必要
- 7) (6)で「指導又は助言が必要」又は「根本的の見直しが必要」を選択した場合、市町村が行った、又は行う予定の指導や助言、見直しの指示について、該当するもの全てにチェック“■”を付けてください。また、チェックした項目について、具体的な指導・助言内容があれば記載してください。

- 1. 検討会・意向調査・現地調査等の充実
- 2. 不在村地主との調整、それに必要な調査の実施
- 3. 非農家等(集落外も含む)多様な人材の参画推進
- 4. 地域内の担い手・中心経営体等の育成・確保、連携強化
- 5. 集落営農の構築・充実等の促進
- 6. 地域外の農業生産法人・認定農業者等との連携強化
- 7. 近隣集落等との連携強化
- 8. 取組内容の再検討(変更)
- 9. 目標の再検討(変更)
- 10. その他

11. 具体的な指導・助言内容

II 資源向上支払の「多面的機能の増進を図る活動」についておたずねします (当該取組をしている組織のみが対象)

活動組織 (広域活動組織を含む) 記入欄 (自己評価)

市町村記入欄 (市町村評価)

(1) あなたの組織が活動計画書「Ⅲ活動の計画」で「多面的機能の増進を図る活動」として定めたもの全てにチェック“■”を付けてください。

(4) 当該活動組織の「多面的機能の増進を図る活動」について、市町村の評価を次の中から、該当するものにチェック“■”を付けてください。

← 活動組織記入欄 (自己評価) のみ記載してください。市町村記入欄 (市町村評価) は記載不要です。

エクセルシートで回答される場合は、「記入シート」のみ記載され、E-Mailで回答願います。

- 1. 遊休農地の有効活用
- 2. 農地周りの共同活動の強化
- 3. 地域住民による直営施工
- 4. 防災・減災力の強化
- 5. 農村環境保全活動の幅広い展開
- 6. 医療・福祉との連携
- 7. 農村文化の伝承を通じた農村コミュニティの強化
- 8. その他

(2) 平成27年度の1年間を振り返り、あなたの組織が取り組んだ「多面的機能の増進を図る活動」に関する具体的な内容を、以下の欄に簡単に記載してください。

(具体的な取組内容)

太鼓を叩きながら集落内の農地を回る、昔から伝わる「熱送り (いもち払い)」の行事を、高齢者から子供まで幅広い世代が参画し、その継承に重点を置いた活動に努めている。

(3) あなたの組織が行った「多面的機能の増進を図る活動」によって、その活動を取り組まなかった場合と比べて、効果が現れている、又は現れることが見込まれるもの全てにチェック“■”を付けてください。

(理解醸成)

- 1. 当該活動への参加者の増加、又は確保。
- 2. 周辺農家などの営農意欲の維持、又は向上。
- 3. 地域住民で整備・補修した施設を大事に使うという意識の向上。
- 4. 連絡網の整備や避難訓練など、地域住民の防災・減災に対する意識の向上。
- 5. 地域住民の農村環境 (景観や水質、生態系、水源かん養、資源循環等) の保全への関心の向上。
- 6. 地域コミュニティの維持・発展に対する意識の向上。

(農村環境等の向上)

- 7. 地域内外からの営農者の確保や地域住民による活用などの遊休農地の有効活用。
- 8. 鳥獣被害の防止などの農地利用や地域環境の改善。
- 9. 地域住民の水路や農道等の知識や補修技術の向上。
- 10. 自然災害や二次災害による被害の抑制・防止。
- 11. 農村環境 (景観や水質、生態系、水源かん養、資源循環等) の向上。
- 12. 高齢者や障害者等の活躍の場の提供。
- 13. 伝統農法・文化の復活や継承を通じた農村コミュニティの強化。
- 14. その他 (具体的な内容を以下の欄に記入してください。)